

平成23年度 日立市教育研究会先進校等調査派遣研修報告書

日立市立河原子中学校 教諭 前島 亮

- 1 研修期日 平成23年 11月18日(金)
- 2 研修先 学校名 台東区立上野中学校 校長 関本 恵一(台東区上野桜木1-14-55)
- 3 研修内容

第44回 全国中学校社会科教育研究大会
 第29回 関東ブロック中学校社会科教育研究大会
 第61回 杉並・中野・練馬三区連合社会科教育発表会
 大会主題 「自分づくり」「社会づくり」を通して生きる力をはぐくむ社会科学学習
 基調提案 東京都中学校社会科教育研究会研究部
 地理的分野 よりよい地域を形成しようとする生徒を育成する学習の在り方
 ー持続可能な開発のための教育の視点を入れることを通してー
 研究提案 東京都中学校社会科教育研究会地理専門委員会
 歴史的分野 時代の特色をとらえる力の育成
 研究提案 東京都中学校社会科教育研究会歴史専門委員会
 公民的分野 「対立」と「合意」をふまえた社会参画意識の育成
 研究提案 東京都中学校社会科教育研究会公民専門委員会
 記念公演 演題「外国人から見た日本人」
 講師 東京大学大学院 情報学環・資料編集所 教授 山本博文氏

(1) 公開授業参観

- 歴史的分野 「近世の特色をとらえる学習」
 練馬区立八坂中学校 主任教諭 河合 仁
 「中世の特色をとらえる学習」
 台東区立上野中学校 主任教諭 高田孝雄

①単元構成の工夫

大単元の終わりに、研究主題となっている「その時代の特色をとらえる学習」を1～3時間「大観」として入れている。今回は、近世と中世のそれぞれの授業の様子を参観することができた。

②授業は体育館で

体育館に机・いすを並べホワイトボードを黒板代わりにしたものだった。30人あまりの生徒を参観者が所狭しと周りを囲み、生徒たちにはとても緊張した時間だったと思われる。河合教諭の授業は、生徒を他校に連れてきてのものだった。いつもは活発な発言がある授業なのだろうが、緊張のせいか挙手も少なく、指名するのに四苦八苦していた。発言も単発に終わってしまい広がりは見えなかったのが残念だった。

③これまでの積み上げ

歴史的分野 単元配当一覧 [130時間]

全単元配当時間

大項目	内 容	時間	大項目	内 容	時間	合計
(1) ア	歴史上の人物・事柄	4				4
(1) イ	身近な地域の歴史	8				8
(2) アイウエ	古代までの日本	16	(1) ウ	大観	1	17
(3) アイ	中世の日本	13	(1) ウ	大観	2	15
(4) アイウエ	近世の日本	25	(1) ウ	大観	2	27
(5) ア～カ	近代の日本と世界	43	(1) ウ	大観	2	45
(6) アイ	現代の日本と世界	11	(1) ウ	大観	3	14
		120			10	130

大項目(1)

歴史の導入・身近な地域・大観 [22時間]

(1) ア「我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりするなどの活動」	[4時間]
イ「身近な地域の歴史を調べる学習」	[8時間]
ウ「各時代の特色をとらえる学習」は「導入とまとめ」と考える	[10時間]



大単元の終末のため、これまでに取り組んだ学習の成果が、パネルに展示してあった。終末の課題をイメージした流れになっており、単元構成がしっかり計画されていることが伺われた。

④ワークシートの活用

自分の考えをまとめ、明確にするためにワークシートが有効に活用されていた。また、他のグループの発表の内容をメモすることにも使われていた。

⑤場の設定の工夫

意見交換をするときの場の設定を小集団から全体というように、意見の言いやすい場を作っていた。また、自分の意見をパネルに書き、また色分けするなどビジュアル的にもわかりやすく工夫されていた。観ていても楽しい授業であった。

(2) 新学習要領との関連

①歴史的分野における改訂の要点

5つの改訂の要点のうち、特に2つの要点が研究主題と関連している。「わが国の歴史の大きな流れ」を理解する学習の一層の重視と、「歴史について考察する力や説明する力」の育成である。

②思考・判断・表現する学習

「各時代の特色をとらえる学習」は、思考・判断や表現などの過程を通じて行われる考えたり判断したりその成果を自分の言葉で表現したりする学習の一つで、これによって言語活動の充実を図る。

③各時代の特色をとらえる学習の新設

大項目(1)「歴史のとらえ方」のウとして、各時代の特色をとらえる学習を新設している。これは、大項目(2)～(6)で学習した内容を活用して、大観し表現する活動を通して、その時代がどのような特色を持った時代だったかをとらえる学習である。

④「各時代の特色をとらえる学習」と歴史的分野の研究

新設された「各時代の特色をとらえる学習」に焦点を当てて研究を進めてきた。拡大項目の最初に行う「時代を大観するための導入の学習」、まとめの学習に至るまでの「毎時の授業」の組み立て、そして最後のまとめである時代を「時代を大観する学習」の一連の流れをひとくくりとして指導計画を立て指導計画を立て実践を試みてきた。そして、毎時間の授業において時代全体の特色を意識しながら学習の焦点化を図るようにしてきた。



4 感想

新学習指導要領のもと、年間指導計画がよく検討されており、そのうえで研究次第にあるような時代を大観する学習を取り入れていることが素晴らしいと思う。授業においては研究授業そのものも苦勞が忍ばれたが、それまでの積み重ねが感じられるところが素晴らしいと感じた。年間指導計画の作成が求められる今資料もたくさん頂き、これから次年度からの年間指導計画の作成と、授業の充実に努めたい。